

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-47229

(43)公開日 平成11年(1999)2月23日

(51)Int.Cl.*

A 61 H 39/04

識別記号

F I

A 61 H 39/04

H

B

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平9-245895

(71)出願人 597129964

(22)出願日 平成9年(1997)8月6日

濱 清雄

岐阜県大野郡久々野町山東847番地の4

(72)発明者 濱 清雄

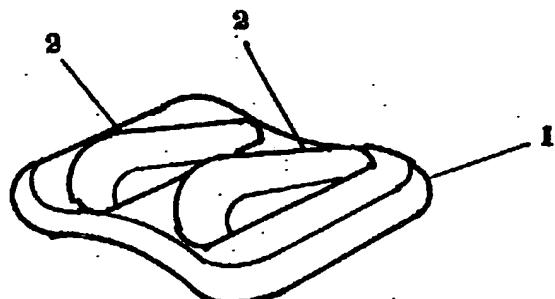
岐阜県大野郡久々野町山東847番地の4

(54)【発明の名称】 指圧器

(57)【要約】

【目的】 指圧器は疲労回復や凝りをほぐすための手段として、用いるもので指圧のツボを適当な強さで押すことにより目的を果たすが、従来の指圧器図9、10では押圧や角度が一定であった。体型には痩せ、肥満、また指圧ツボには腰、背中、首筋、頭などの差異があり、そのツボに応じて押圧の角度や強弱が必要であり、その効果を高めるようにする。

【構成】 台部材1の上面に、一方を鋭角面2A、一方を鈍角面2Bとした。全体を丸面で斜状にした押圧部材2を平行に取り付ける。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】台部材1の上面に対し、2個の丸面で斜状に延びた押圧部材2を平行に固定したことを特徴とする指圧器。

【請求項2】台部材1は板状をなし、上面角は丸面状で長手方向に対し、中央部が相対に湾曲状をなしていることを特徴とする、指圧器。

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は、疲労回復や凝りをほぐすための手段として用いる指圧器に関するものである。

【0002】従来の指圧器は第9、10図に示すように、台部材1に球状の突部を指圧部材2として固定している。この指圧器を使用するに床や、寝布団で身体を仰向けに寝て、背中や、首すじの指圧つぼに、押圧部材2を当て身体の重みによる押圧で、指圧と同様な作用を受ける。

【0003】ところで人には、まず男性、女性、体型の痩せ、肥満など、肉体的の差異があり、また、押圧の強弱を求めるなど、使用者の身体に、対応することができなかつた。

【0004】従って、本発明は上記問題点を解決するために台部材1の上面に球状で、前部より後部へ斜状に延びた押圧部材2を2個取り付けたものである。

【0005】上記のように構成した指圧器を使用する場合、従来の指圧器と同様であるが、押圧部材2をツボに押し当てるとき、肥満体型の人や、また強く押したい場合は押圧部材2の鋭角丸面2Aを押し当て、また痩せ体型の人や首すじなど、押圧を弱くして使用したい場合は、鋭角丸面2Aを逆方向に位置を変えて、押圧部材鈍角丸面2Bを、当てて使用する。

【0006】以下本発明を具体化した実施例を第1～8図について説明する。台部材1は長方形で板状をなし、上部角は丸面とし長手方向中央部1Aは身体に接触しないよう相対面を湾曲状にしている。押圧部材2は長方形をなし角を丸面とし、前部2Aから、後部2Bへ斜状になっている。この押圧部材2は、台部材1の前丸面1Bから、後丸面1Cへ向かって、側面1Dに対し、平行に固定されている。押圧部材2の幅は、台部材1の厚み

2

とほぼ同じとなっている。また、高さは、押圧部材2の幅とほぼ同じとなっている。さて、上記のように構成された、指圧器を使用する場合、使用者は、第7、8図に示すように床に仰向けに寝て、指圧のツボに押し当て使用するが、この場合指圧が、必要とする箇所は、腰、背中、首すじ、頭、などがあり、また、押圧の強弱が必要となる。そこで使用者は、指圧ツボに応じて、押圧部材2の位置を身体と平行に置き、押圧部材2A面では、強く、また弱くしたい時は、押圧部材2B面を逆方向に置いて押圧することにより、その効果が得られる。

【0007】以上、詳述したように、本発明は、使用者の使用箇所に応じて、2通りの対応ができ、また、押圧部材の適度な角度により、優れた指圧効果を発揮する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】指圧器の正面図である。

【図 2】指圧器の平面図である。

【図 3】指圧器の断面図である。

【図 4】指圧器の底面図である。

【図 5】指圧器の側面図である。

【図 6】指圧器の斜視図である。

【図 7】指圧器を使用している状態を示す正面図である。

【図 8】指圧器を使用している状態を示す側面図である。

【図 9】従来の指圧器で2球状の斜視図である。

【図 10】従来の指圧器で4球状の斜視図である。

【符号の説明】

1 台部材

30 1 A 台部材の長手方向の中央部で湾曲している状態部。

1 B 台部材の湾曲状面で押圧部材の接触面の前部。

1 C 台部材の湾曲状態で押圧部材の接触面の後部。

1 D 台部材の側面

2 押圧部材

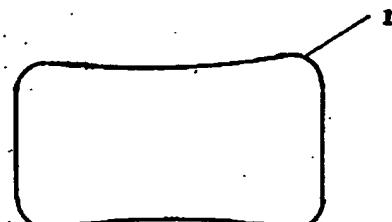
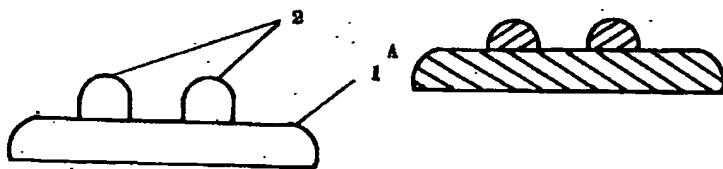
2 A 押圧部材の鋭角のついた丸面状態部

2 B 押圧部材の鈍角斜状のついた丸面状態部

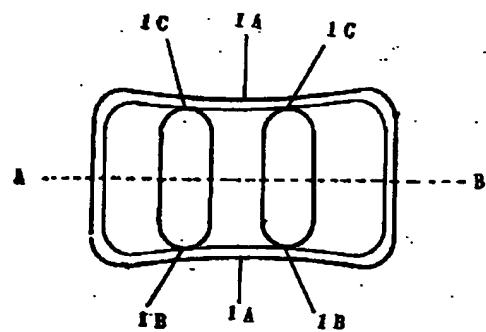
【図1】

【図3】

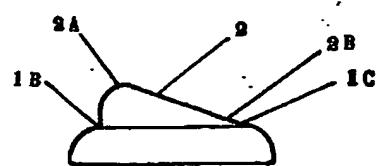
【図4】



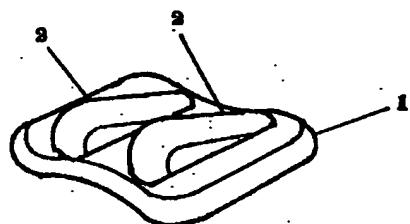
【図2】



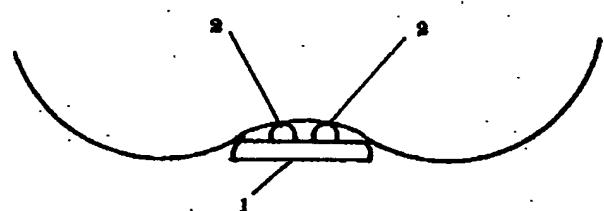
【図5】



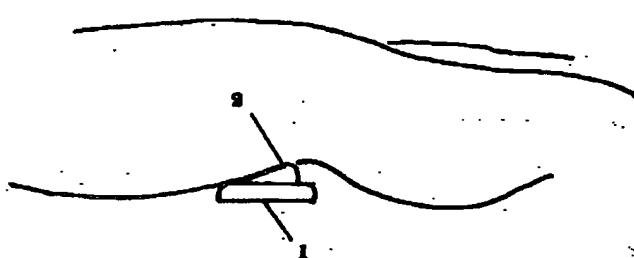
【図6】



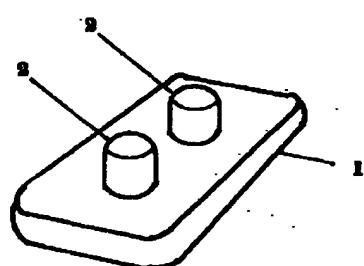
【図7】



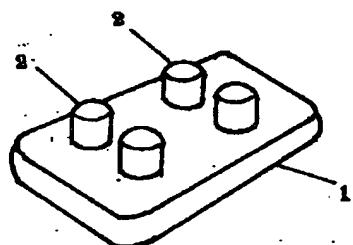
【図8】



【図9】



【図10】



CLIPPEDIMAGE= JP411047229A

PAT-NO: JP411047229A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11047229 A

TITLE: POINTILLAGE DEVICE

PUBN-DATE: February 23, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAMA, KIYOO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

HAMA KIYOO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09245895

APPL-DATE: August 6, 1997

INT-CL (IPC): A61H039/04

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enhance the effect by varying the angle and the level of a pressing according to pointillage spots considering figures lean and obese and differences thereof between the waist, the back, the crest, the head and like.

SOLUTION: In this pointillage device, pressing members 2 are inclined with the surfaces thereof made round as a whole and acute-angled surfaces 2A are arranged on one hand of the pressing member while obtuse-angled surfaces 2B on the other hand thereof to be mounted parallel with each other on the top surface of a base member 1 thereof. The pointillage device is used as in the past. When pressing the pressing members 2 onto acupressure spots, as for an

/ .

obese person or in intensely pressing, the acute-angled round surfaces 2A of the pressing members 2 are pressed onto the pointellage spots or in pressing with a weaker pressure as for a lean figure or for a crest or the like, the position of the acute-angled round surfaces 2A is reserved to press the obtuse-angled round surfaces 2B of the pressing members onto the acupressure points.

COPYRIGHT: (C) 1999, JPO